

## 【長寿祝い一覧】お祝いの名称・読み方・年齢・色・由来とは？



長寿祝いとは、奈良時代から始まった長生きを祝う風習で、もともとは中国がルーツといわれています。今では日本でも一般的な行事です。60歳の「還暦（かんれき）」や77歳の「喜寿（きじゅ）」など、一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

名称（読み方）	年齢	お祝いの色	由来
<b>還暦</b> （かんれき）	61歳 （満60歳）	赤・朱色	中国において古くから数字の代わりに使われてきた「十干十二支（じっかんじゅうにし）」。この十干十二支が60年で一巡し、もとの暦に還ることに由来している。
<b>古希</b> （こき）	70歳	紫	中国の詩人・杜甫（とほ）の詩句「曲江詩（きょっこう）」の一節「人生七十古来稀なり（じんせいしちじゅうこらいまれなり）」に由来している。
<b>喜寿</b> （きじゅ）	77歳	紫	「喜」の草書を楷書にすると「崑」と書く。この字が「七十七」に見えるため、77歳のお祝いとなった。
<b>傘寿</b> （さんじゅ）	80歳	黄など	漢字で「八十」と縦に書くと、「傘」の略字「傘」に見えることから「傘寿」となった。「八十寿（やそじゅ）」ともいう。
<b>米寿</b> （べいじゅ）	88歳	金茶	「米」の文字を分解すると、「八十八」に見えることから米寿と名が付いた。
<b>卒寿</b> （そつじゅ）	90歳	白など	「卒」の略字「卒」が、「九十」に分解できることから、「卒寿」と呼ばれるようになった。
<b>白寿</b> （はくじゅ）	99歳	白	漢字の「百」の字から「一」を引くと「白」になることから、「白寿」になった。
<b>百寿</b> （ひゃくじゅ）	100歳	白など	100歳のお祝いであることに由来している。100年は一世紀と表すため、「紀寿（きじゅ）」と呼ばれることも。（ももじゅsとも読む）
<b>茶寿</b> （ちゃじゅ）	108歳	決まっていない	「茶」という漢字を分解すると、それぞれ「八十八」、「十」、「十」となる。これらをすべて足すと108になることに由来している。
<b>皇寿</b> （こうじゅ）	111歳	決まっていない	「皇」の字は「白（百から一をとった字なので99）」、「一」、「十」、「一」に分けられる。これらの数字を合わせると、111になることに由来している。
<b>大還暦</b> （だいかんれき）	120歳	決まっていない	60年で一周する暦が二周するため、 $60 \times 2 = 120$ で「大還暦」となった。「昔寿（せきじゅ）」と呼ばれることもある。